

岡村製作所 様

オカムラ

株式会社 岡村製作所

オフィス家具業界トップクラスのリーディングカンパニーである岡村製作所。
1945年創業 東証一部上場企業 資本金18,670百万円
従業員数2,866名 全国に92の支店を持つ（2015年3月現在）
家具・産業用機器等の製造を主な業務としており、特にオフィス向け家具業界で高いシェアを持つ。

お話を伺いました

今回お話を伺ったのは、岡村製作所の「ものづくりへの情熱とこだわり」を支える情報システム部 システム技術担当 デスクトップグループの上杉 英之課長と太田 悠樹氏のお二人。

ITAMを導入した経緯や導入後の評価、コアの体制に関する本音を交えたお話をお聞かせいただきました。



情報システム部
システム技術担当
課長 上杉 英之 氏

情報システム部
システム技術担当
デスクトップグループ
太田 悠樹 氏



Swift (スイフト)

上下昇降デスク
“立つ”と“座る”を思いのままに



Precide (プリシード)

オフィスシステムファニチュア
そのオフィスに、色はあるか。



Sabrina (サブリーナ)

オフィスシーティング
しなやかに、しっかりフィット。
新しい座り心地の提案。

ITAMで全社5,000台のクライアント端末を管理。

主にリモートコントロール機能を使った社内ヘルプデスク業務で活用中。

資産管理、リモートコントロール、ソフトウェア資産管理を1つの製品で対応可能な点からITAMを選択。

将来的にはソフトウェア資産管理の管理レベル向上や実務に沿った配布機能の利用も視野に、ITAMの更なる活用も検討中。

構成情報

[導入製品]	ITAM Ver.5.4
[導入ライセンス]	資産管理/インベントリ/配布/セキュリティ/SPC/リモートコントロール/ソフトウェア辞書
[管理対象数]	PC (5,000ライセンス) / 什器備品 (10,000ライセンス)
[導入期間]	2013年8月~12月 (導入開始から稼働まで)

導入前の問題点

- IT資産管理ツールとは別にリモートコントロール製品を利用していたため、維持管理コストに不満があった。
- ライセンス管理を部門担当者が手作業で実施していて工数がかかるため、システムを活用した質の高い仕組みを整えたいと考えていた。

ITAM導入後

導入後

- リモートコントロール機能を含んだIT資産管理ツールを採用したことにより、コストの削減を実現した。
- ソフトウェア資産管理機能を活用した自動化による作業工数削減の仕組みが整備できた。

社内5,000台へのヘルプデスク業務に必須のリモートコントロールツールの見直しをきっかけに、ソフトウェア資産管理も実施できるITAMを選択。



情報システム部
システム技術担当
デスクトップグループ
太田 悠樹 氏

—ITAM導入前の課題

「情報システム部は社内エンドユーザーからの問い合わせや障害対応など、ヘルプデスク業務全般を受けています。」と情報システム部 システム技術担当 デスクトップグループの太田氏は語る。

ITAMを導入する以前は、IT資産管理ツールとは別にリモートコントロールツールを利用しており、費用が高額だったため、コスト削減を目的とした見直しがITAM導入のきっかけの1つという。

岡村製作所ではエンドユーザーの問い合わせを直接情報システム部が受け付ける仕組みが整っている。

社内ポータルを開設し、よくある質問はFAQに掲載しているが、エンドユーザーからは電話による問い合わせが圧倒的に多いのが実情だ。

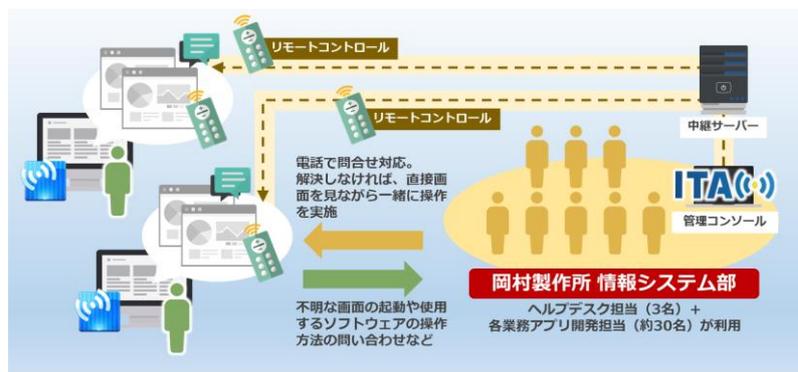
そのため、電話口で解決できなければリモートコントロール機能を使って直接画面を見ながら一緒に操作をするという流れをとっており、リモートコントロールツールはヘルプデスク業務に欠かせない。

主にヘルプデスク担当（3名）と各業務アプリ開発担当（約30名）がITAMのリモートコントロールを利用している。

「ITAM導入後は、拠点担当者を含めると合計100名がリモートコントロールできる環境を整備することができました。また、1コンソールで複数台のPCに同時接続してリモートコントロールできるようになり、ヘルプデスク業務が今までよりも円滑に行えるようになりました。」と語る太田氏。

また、「ライセンスの管理はしているものの、担当者のやり方に依存せず自動化による作業工数を削減できる仕組みを構築したいという希望も持っていたため、ソフトウェア資産管理機能もツール選定のポイントに加えました。」と太田氏は言う。

岡村製作所が持つこの2つの課題に対し、1つの製品で対応が可能という点がITAM導入の決め手となった。



ITAM導入後 運用イメージ図

「営業やサポートの体制は大変重要だと考えており、コアのきめ細やかな対応を評価しています。」 —上杉 氏

—ITAM導入全般に関する評価

「システムは導入する期間よりも、導入後の運用期間のほうがうんと長いですね。」という話をしてくださったのは、情報システム部 システム技術担当デスクトップグループの上杉氏。

「プロジェクト開始後に発生した計画変更に対し、営業・技術担当ともに誠実に対応してくれたと思っています。」と語る。

近い将来のWindows10の導入や継続的な運用改善についての展望を語り、「全般的な要望としては、機能追加や新しいOSへの対応もすぐに行い、どんどん実績を作っていくって欲しい。」と語る。

今後は、収集したインベントリ情報を基にソフトウェア資産管理機能と配布機能の利用範囲を広げ、ITAMをより活用していく予定だと言う。

情報システム部
システム技術担当
課長 上杉 英之 氏



<お問い合わせ>



株式会社 コア プロダクトソリューションカンパニー ITAM担当チーム

〒154-8552 東京都世田谷区三軒茶屋1-22-3 コアビル TEL.03-3795-5153

<URL> <http://www.core.co.jp/ns/> <MAIL> ns-marketing@core.co.jp



カタログコード 201511-01